

平成22年度中間決算説明資料

株式会社 岩手銀行

目次

I 平成22年度中間決算の概要【単体】	(単)	1
II 平成22年度中間決算の計数		
1. 損益状況	(単・連)	8
2. 業務純益	(単)	10
3. 利鞘	(単)	10
4. 有価証券関係損益	(単)	11
5. 有価証券の評価損益	(単)	11
6. 退職給付関連	(単)	12
7. 自己資本比率(国内基準)	(単・連)	13
8. ROE	(単)	14
9. ROA、OHR	(単)	14
10. 預金・貸出金の残高	(単)	14
III 貸出金等の状況		
1. リスク管理債権の状況	(単)	16
2. 貸倒引当金の状況	(単)	17
3. 金融再生法開示債権	(単)	17
4. 金融再生法開示債権の保全状況	(単)	18
5. 業種別貸出状況等		
① 業種別貸出金	(単)	20
② 業種別リスク管理債権	(単)	21
③ 消費者ローン残高	(単)	21
④ 中小企業等貸出比率	(単)	21

I 平成22年度中間決算の概要【単体】

- 経常収益は、利回りの低下に伴う資金運用収益の減少などにより、前年同期対比9億円減の240億円となりました。
- 経常費用は、資金調達費用および有価証券の減損処理費用が減少したほか、経費の節減効果もあって、前年同期対比2億円減の199億円となりました。
- その結果、経常利益は41億円(前年同期対比7億円減)、中間純利益は25億円(同5億円減)となりました。

1. 決算の概要

(単位:百万円)

	23年3月期 第2四半期 (6カ月間)	22年3月期 第2四半期 (6カ月間)	前年同期 対比	公表計数	公表計数 対比
経常収益	24,088	25,063	△975	24,000	+88
業務純益	5,976	5,095	+881	—	—
経常利益	4,185	4,952	△767	4,200	△15
中間純利益	2,570	3,115	△545	2,500	+70

2. 有価証券の状況

- ◎ 安全性と流動性に留意したポートフォリオの運営を継続して進めており、有価証券の減損処理費用や売却損は前年同期対比減少しました。また、その他有価証券のネット評価差額は、236億円となりました。

3. 資産の健全性確保への取り組み

- ◎ 与信費用については、大口与信先の経営破綻の影響により前年同期対比12億円増の16億円となりました。
- ◎ 金融再生法開示債権は、取引先の経営改善支援に引き続き取り組んだ結果、前年同期対比21億円減少し、不良債権比率も同0.17%低下の3.14%となりました。

4. 自己資本比率の状況

- ◎ 自己資本比率は、その他利益剰余金が増加したことに伴い自己資本が増加したほか、事業性貸出や有価証券等のリスクアセットも減少したことから、前中間期比0.53%上昇し13.96%となりました。

5. 配当金

- ◎ 中間配当金は、1株当たり30円を予定しております。
- ◎ 年間配当金は、1株当たり60円を予定しております。

6. 平成22年度の業績予想

- ◎ 経常収益451億円、経常利益88億円、当期純利益53億円を予想しております。

1. 損益の状況(単体)

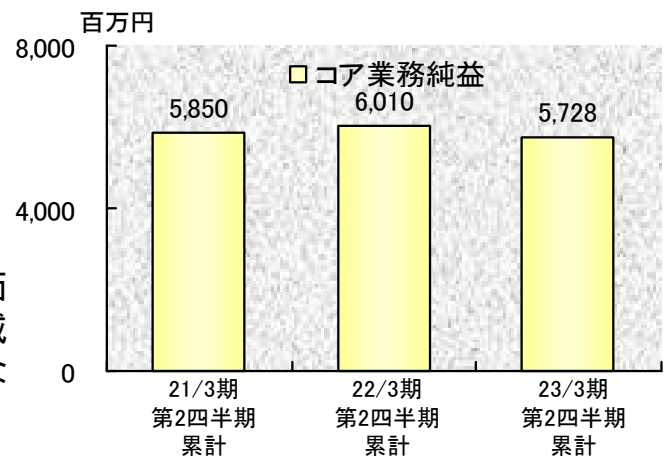
(単位:百万円)

	平成23年3月期 第2四半期 (6ヵ月間)	前年同期対比	平成22年3月期 第2四半期 (6ヵ月間)
経常収益	24,088	△ 975	25,063
コア業務粗利益	19,082	△ 553	19,635
うち資金利益	17,094	△ 236	17,330
うち役務取引等利益	1,906	14	1,892
うちその他業務利益(国債等債券損益を除く)	80	△ 331	411
経費(△)	13,354	△ 270	13,624
コア業務純益	5,728	△ 282	6,010
国債等債券損益	354	1,107	△ 753
一般貸倒引当金繰入額(△) A	106	△ 56	162
業務純益	5,976	881	5,095
臨時損益	△ 1,790	△ 1,647	△ 143
うち不良債権処理額(△) B	1,569	1,269	300
うち株式等関係損益	257	△ 228	485
経常利益	4,185	△ 767	4,952
中間純利益	2,570	△ 545	3,115
経常費用(△)	19,903	△ 208	20,111
与信費用(△) A+B	1,675	1,213	462

(1) コア業務純益

「本業部分の利益」を表すコア業務純益は前年同期対比282百万円減少しました。

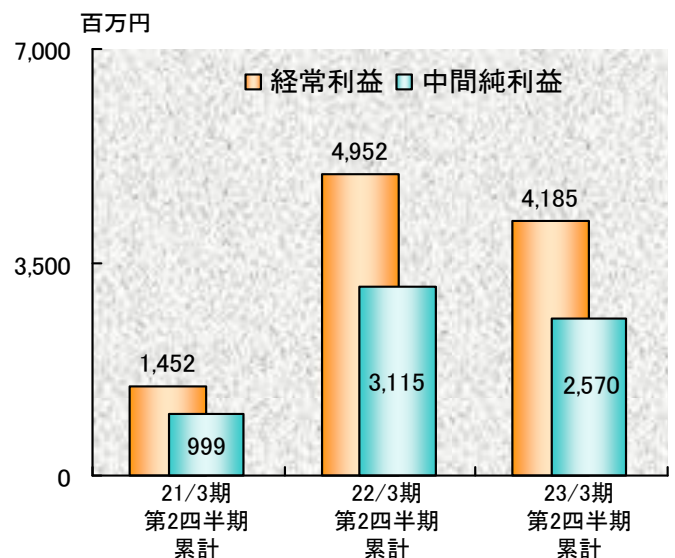
経費の抑制に努めたものの、貸出金・有価証券の利回り低下を主因として資金利益が減少したことなどから、コア業務純益は減益となりました。



(2) 経常利益・中間純利益

経常利益、中間純利益ともに前年同期対比減益となりました。

経常収益が減収となったほか、大口与信先の経営破綻により与信費用が増加したことなどから、経常利益、中間純利益ともに減益となりました。



2. 貸出金の状況

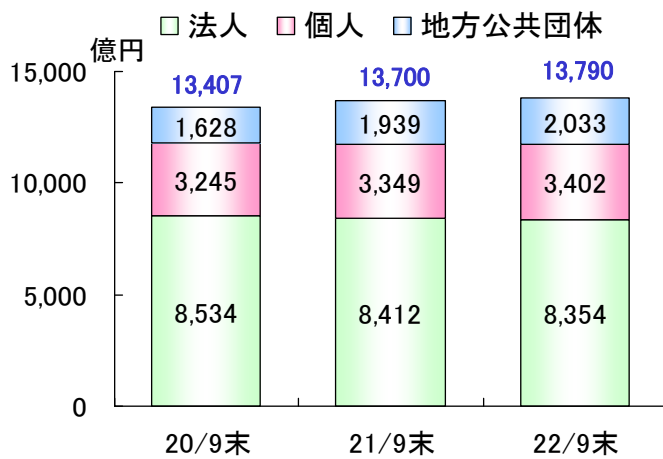
平成22年9月末の貸出金残高は、前年同期比90億円(0.6%)増、貸出金平残は同139億円(1.0%)増となりました。内訳をみると、法人向け貸出が資金需要の低迷により減少した一方で、個人向け貸出が引き続き堅調に推移したほか、地方公共団体向け貸出も増加しました。

(単位: 億円、%)

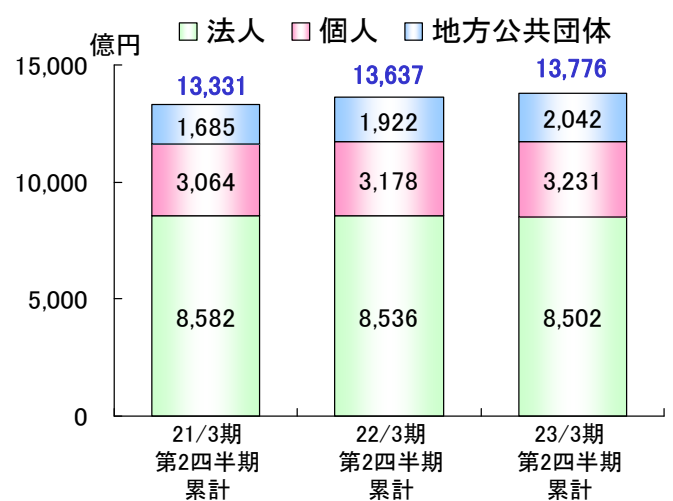
	20年9月末	21年9月末	22年9月末	前年同期		22年3月末
				対比増減額	対比増減率	
貸出金末残	13,407	13,700	13,790	+90	+0.6	14,285
貸出金平残	13,331	13,637	13,776	+139	+1.0	13,742

※平残は第2四半期累計(6ヵ月間)の計数

貸出金末残の推移

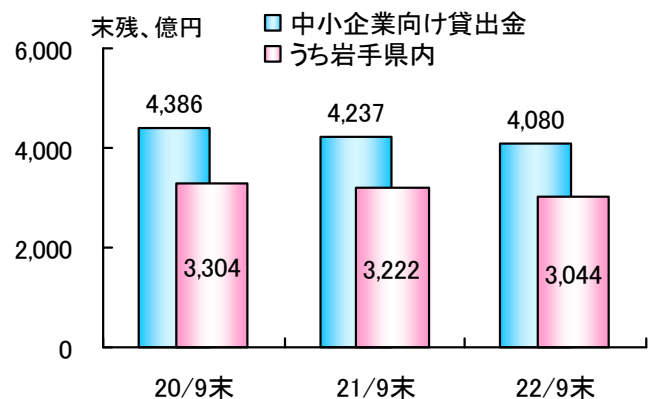


貸出金平残の推移



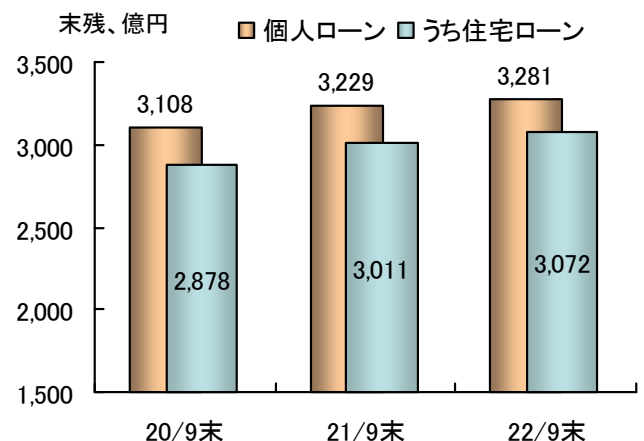
(1) 中小企業向け貸出金

地域への安定的かつ良質な資金供給に努めるとともに、付加価値の高い情報・サービスの提供を行ってまいりましたが、中小企業全体の資金需要の低迷が長期化していることなどから、中小企業向け貸出金残高は、前年同期対比157億円の減少となりました。



(2) 個人ローン

住宅着工戸数の低迷が続く中において住宅ローンは前年同期対比61億円(2.0%)増と堅調な伸びを維持しており、個人ローン総体では同52億円(1.6%)増となりました。



3. 預金の状況

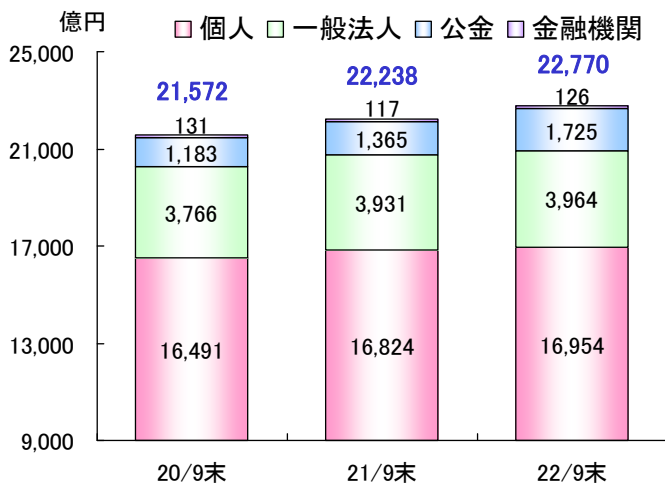
平成22年9月末の預金等残高は、お取引先の安全志向の高まりもあって個人預金、法人預金ともに好調に推移したほか、公金預金も増加したことから、前年同期比532億円(2.3%)増、預金等平残は同669億円(2.9%)増となりました。

(単位:億円、%)

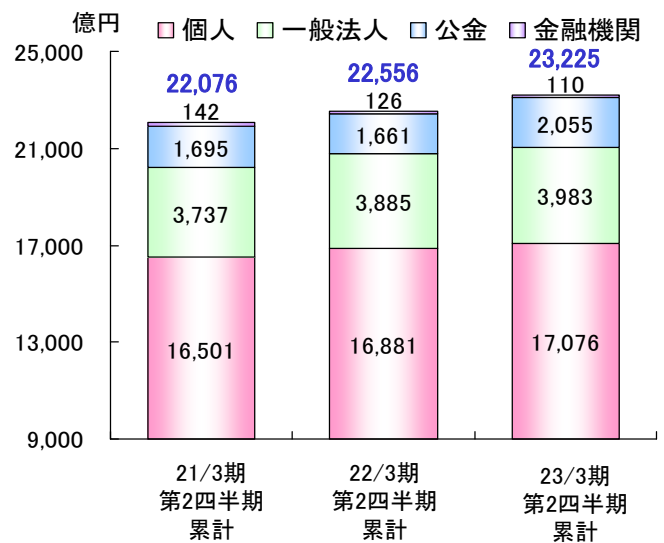
	20年9月末	21年9月末	22年9月末	前年同期		22年3月末
				対比増減額	増減率	
預金等末残	21,572	22,238	22,770	+532	+2.3	23,111
預金等平残	22,076	22,556	23,225	+669	+2.9	22,504

※平残は第2四半期累計期間(6ヵ月間)の計数

預金等末残の推移



預金等平残の推移

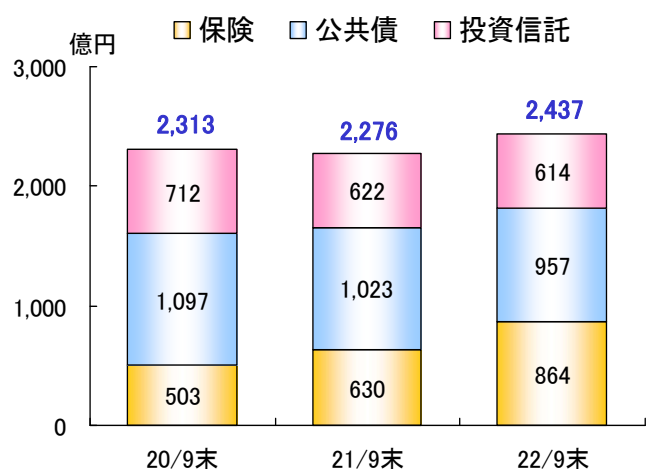


4. 預り資産の状況

預り資産の販売額は、商品ラインナップの充実と専門相談員による態勢を強化した結果、前年同期対比43億円の増加となりました。

また、全体の残高では、保険の販売が好調に推移していることから、前年同期対比161億円の増加となりました。

預り資産残高の推移



※保険は、販売累計額を記載しております。

【販売額の状況】 (単位:億円、%)

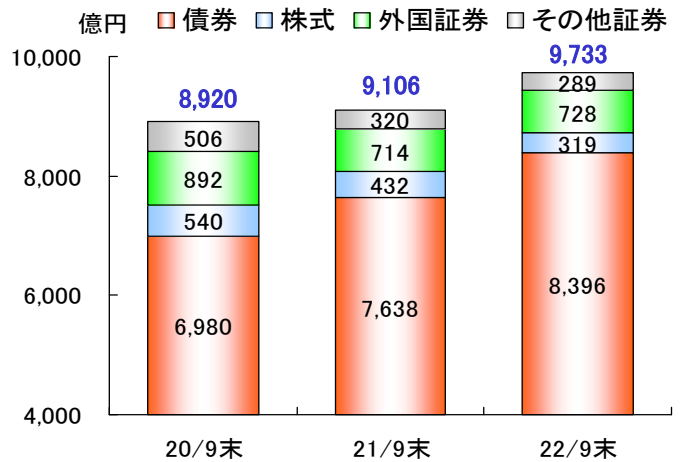
	23年3月期 第2四半期 (6ヵ月間)	前年同期 対比増減額	前年同期比 増減率
販売合計	205	+43	+26.5
投資信託	45	+15	+50.0
公共債	30	△18	△37.5
保険	129	+46	+55.4

5. 有価証券の状況

【有価証券残高の推移】

有価証券末残の推移

平成22年9月末の有価証券残高は、安全性と流動性に留意したポートフォリオ運営を継続する観点で、国債及び地方債の買入を増加させたほか、保有有価証券の評価額が増加したことなどから、前年同期対比627億円(6.8%)増加しました。



	20年9月末	21年9月末	22年9月末	前年同期対比		22年3月末
				増減額	増減率	
有価証券末残	8,920	9,106	9,733	+627	+6.8	9,395
有価証券平残	9,034	9,039	9,489	+450	+4.9	9,067

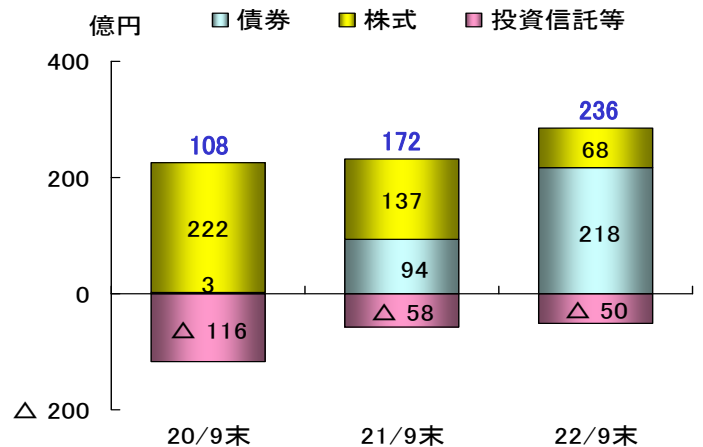
(単位: 億円、%)

※平残は第2四半期累計(6ヵ月間)の計数

【有価証券関係損益と評価差額の状況】

「その他有価証券」評価差額の推移

有価証券関係損益は、債券の減損処理費用が減少したことに加え、売却益が増加したことなどから、前年同期対比では8億円増加し+6億円となりました。
また、「その他有価証券」評価差額は、ネット64億円改善し、236億円(うち、債券218億円、株式68億円、投資信託等△50億円)となりました。



有価証券関係損益

	22年3月期 第2四半期 (6ヵ月間)	23年3月期 第2四半期 (6ヵ月間)	前年同期対比	22年3月期
国債等債券損益 A	△753	354	1,107	△1,455
売却益	482	865	383	956
償還益	—	—	—	249
売却損(△)	432	446	14	2,335
償却(△)	803	64	△739	326
株式等損益 B	485	257	△228	2,152
売却益	707	832	125	2,887
売却損(△)	214	145	△69	661
償却(△)	7	428	421	73
有価証券関係損益 A+B	△268	612	880	696

(単位: 百万円)

※当行では四半期洗替法を採用しております。

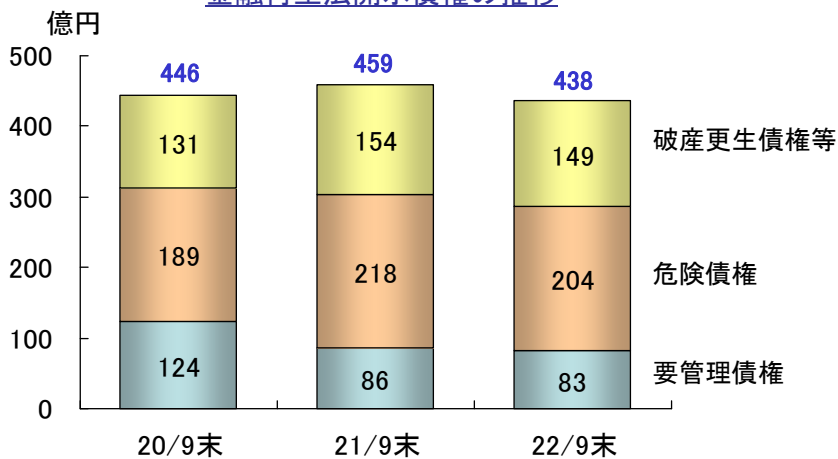
6. 金融再生法開示債権の状況

平成22年9月末の金融再生法開示債権については、大口与信先の経営破綻があったものの、取引先の経営改善支援に引き続き取り組んだ結果、前年同期対比21億円の減少となりました。その結果、総与信に対する割合は、同0.17%低下し3.14%となりました。

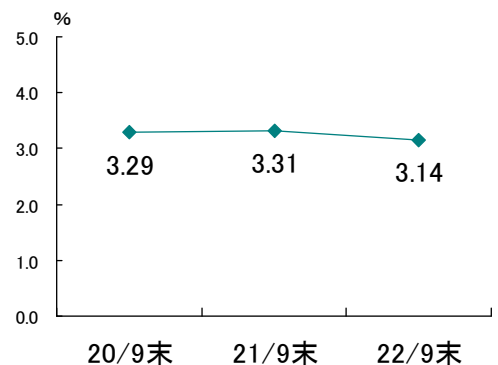
(単位:億円)

	20年 9月末	21年 9月末	22年 9月末	前年同期対比	22年 3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	131	154	149	△5	170
危険債権	189	218	204	△14	204
要管理債権	124	86	83	△3	85
合計	446	459	438	△21	459

金融再生法開示債権の推移



総与信額に対する比率の推移



7. 与信費用の状況

一般貸倒引当金については繰入減となりましたが、個別貸倒引当金については、第1四半期に大口与信先の破綻があったことから繰入増となりました。この結果、総体の与信費用は前年同期対比12億円増加しました。

(単位:百万円)

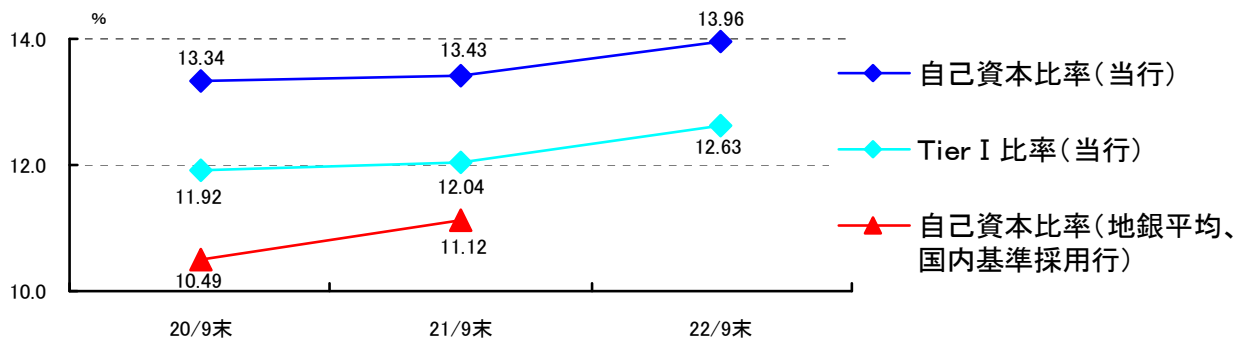
	22年3月期 第2四半期 (6ヵ月間)	23年3月期 第2四半期 (6ヵ月間)	前年同期対比	22年3月期
与信費用	462	1,675	1,213	3,395
一般貸倒引当金繰入額	162	106	△56	△230
不良債権処理額	300	1,569	1,269	3,625
貸出金償却	0	0	0	0
個別貸倒引当金繰入額	203	1,506	1,303	3,292
偶発損失引当金繰入額	51	36	△15	123
債権売却損	44	26	△18	207

8. 自己資本比率(国内基準)

平成22年9月末の単体自己資本比率は、その他利益剰余金の増加に伴い自己資本が増加したほか、事業性貸出や有価証券等のリスクアセットが減少したことから、前年同期末比0.53%上昇し、13.96%となりました。

(単位:億円、%)

	20年9月末	21年9月末	22年9月末	前年同期末比	22年3月末
自己資本 A+B-C	1,441	1,397	1,426	29	1,407
基本的項目【Tier I】A	1,289	1,252	1,290	38	1,266
その他利益剰余金	1,092	1,055	1,088	33	1,071
補完的項目【Tier II】B	152	150	147	△3	146
控除項目 C	0	5	12	7	4
リスクアセット	10,807	10,395	10,211	△184	10,640
自己資本比率	13.34	13.43	13.96	0.53	13.23
うちTier I 比率	11.92	12.04	12.63	0.59	11.90



9. 22年度業績予想

- 経常収益は、利回りの低下などにより資金運用収益が減少する見通しであることから、前年度対比57億円減の451億円を予想しております。
- 一方、経常費用は資金調達費用や与信費用が減少する見込みであるほか、経費の節減にも努めることなどから、前年度対比62億円減の363億円を予想しております。
- これにより、経常利益は88億円、当期純利益は53億円となる見通しであります。

(単位:百万円)

【単体】	22年度通期予想	前年度対比増減額
経常収益	45,100	△ 5,701
業務純益	12,000	1,393
経常利益	8,800	575
当期純利益	5,300	61
【連結】		
経常収益	45,120	△ 5,690
経常利益	8,820	609
当期純利益	5,320	94

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日時点において当行が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の経営環境の変化などの様々な要因により変動する場合があります。

Ⅱ 平成22年度中間決算の計数

1. 損益状況

【単 体】

(単位：百万円)

	22年中間期		21年中間期
		前年同期対比	
業 務 粗 利 益	19,436	555	18,881
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	19,082	△ 553	19,635
資 金 利 益	17,094	△ 236	17,330
役 務 取 引 等 利 益	1,906	14	1,892
そ の 他 業 務 利 益	435	776	△ 341
(うち国債等債券損益)	354	1,107	△ 753
経 費 (除 く 臨 時 処 理 分)	13,354	△ 270	13,624
人 件 費	6,973	101	6,872
物 件 費	5,607	△ 342	5,949
税 金	772	△ 30	802
業 務 純 益 (一 般 貸 倒 繰 入 前)	6,082	825	5,257
除く国債等債券損益(5勘定戻)	5,728	△ 282	6,010
① 一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	106	△ 56	162
業 務 純 益	5,976	881	5,095
除く国債等債券損益(5勘定戻)	5,622	△ 226	5,848
臨 時 損 益	△ 1,790	△ 1,647	△ 143
② 不 良 債 権 処 理 額	1,569	1,269	300
貸 出 金 償 却	0	0	0
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	1,506	1,303	203
偶 発 損 失 引 当 金 繰 入 額	36	△ 15	51
債 権 売 却 損	26	△ 18	44
(貸倒償却引当費用①+②)	1,675	1,213	462
株 式 等 関 係 損 益	257	△ 228	485
株 式 等 売 却 益	832	125	707
株 式 等 売 却 損	145	△ 69	214
株 式 等 償 却	428	421	7
退 職 給 付 費 用	498	△ 46	544
そ の 他 臨 時 損 益	19	△ 197	216
経 常 利 益	4,185	△ 767	4,952
特 別 損 益	△ 26	47	△ 73
固 定 資 産 処 分 損 益	9	31	△ 22
減 損 損 失	—	△ 50	50
そ の 他 の 特 別 損 失	36	36	—
税 引 前 中 間 純 利 益	4,159	△ 719	4,878
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	720	694	26
法 人 税 等 調 整 額	867	△ 869	1,736
法 人 税 等 合 計	1,588	△ 174	1,762
中 間 純 利 益	2,570	△ 545	3,115

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

【連 結】

〈連結損益計算書ベース〉

(単位：百万円)

	22年中間期		21年中間期
		前年同期対比	
連 結 粗 利 益	19,443	555	18,888
資 金 利 益	17,094	△ 236	17,330
役 務 取 引 等 利 益	1,913	14	1,899
そ の 他 業 務 利 益	435	776	△ 341
営 業 経 費	13,919	△ 323	14,242
貸 倒 償 却 引 当 費 用	1,675	1,213	462
貸 出 金 償 却	0	0	0
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	1,506	1,303	203
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	106	△ 56	162
偶 発 損 失 引 当 金 繰 入 額	36	△ 15	51
債 権 売 却 損	26	△ 18	44
株 式 等 関 係 損 益	257	△ 228	485
持 分 法 に よ る 投 資 損 益	5	5	△ 0
そ の 他	84	△ 202	286
経 常 利 益	4,195	△ 760	4,955
特 別 損 益	△ 26	47	△ 73
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	4,169	△ 712	4,881
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	723	696	27
法 人 税 等 調 整 額	867	△ 866	1,733
中 間 純 利 益	2,578	△ 542	3,120

(注) 連結粗利益＝{資金運用収益－(資金調達費用－金銭の信託運用見合費用)}

＋(役務取引等収益－役務取引等費用)

＋(その他業務収益－その他業務費用)

(参 考)

(単位：百万円)

連 結 業 務 純 益	5,981	880	5,101
-------------	-------	-----	-------

(注)連結業務純益＝単体業務純益＋子会社経常利益＋関連会社経常利益×持ち分－内部取引(配当等)

(連結対象会社数)

(単位：社)

連 結 子 会 社 数	1	—	1
持 分 法 適 用 会 社 数	3	—	3

2. 業務純益【単 体】

(単位：百万円)

	22年中間期		21年中間期
		前年同期対比	
(1) 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	6,082	825	5,257
職員一人当たり(千円)	3,837	459	3,378
(2) 業 務 純 益	5,976	881	5,095
職員一人当たり(千円)	3,770	496	3,274

(注) 職員一人当たり計数は、期中平均人員により算出しております。

3. 利鞘【単 体】

全 店

(単位：%)

	22年中間期		21年中間期
		前年同期比	
(1) 資 金 運 用 利 回	1.52	△ 0.14	1.66
貸 出 金 利 回	1.77	△ 0.12	1.89
有 価 証 券 利 回	1.35	△ 0.13	1.48
(2) 資 金 調 達 原 価	1.27	△ 0.13	1.40
預 金 等 利 回	0.13	△ 0.08	0.21
(3) 預 貸 金 利 鞘	0.50	0.02	0.48
(4) 総 資 金 利 鞘	0.25	△ 0.01	0.26

国内業務部門

(単位：%)

	22年中間期		21年中間期
		前年同期比	
(1) 資 金 運 用 利 回	1.50	△ 0.13	1.63
貸 出 金 利 回	1.78	△ 0.12	1.90
有 価 証 券 利 回	1.37	△ 0.12	1.49
(2) 資 金 調 達 原 価	1.26	△ 0.13	1.39
預 金 等 利 回	0.13	△ 0.08	0.21
(3) 預 貸 金 利 鞘	0.52	0.01	0.51
(4) 総 資 金 利 鞘	0.24	0.00	0.24

4. 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	22年中間期		21年中間期
		前年同期対比	
国債等債券損益（5勘定戻）	354	1,107	△ 753
売却益	865	383	482
償還益	—	—	—
売却損	446	14	432
償還損	—	—	—
償却	64	△ 739	803

株式等損益（3勘定戻）	257	△ 228	485
売却益	832	125	707
売却損	145	△ 69	214
償却	428	421	7

5. 有価証券の評価損益

(1) 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的の債券	償却原価法
その他有価証券	時価法(評価差額を全部純資産直入)
子会社株式及び関連会社株式	原価法

(2) 評価損益

【単体】

(単位：百万円)

	平成22年9月末					平成21年9月末		
	評価損益					評価損益		
		平成21年 9月末対比	評価益	評価損		評価益	評価損	
満期保有目的	△ 152	△ 13	1,150	1,303	△ 139	992	1,131	
債券	168	△ 71	904	736	239	909	670	
その他	△ 321	57	245	566	△ 378	82	460	
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	
その他有価証券	23,625	6,331	32,355	8,729	17,294	28,332	11,037	
株式	6,807	△ 6,970	9,403	2,596	13,777	15,729	1,952	
債券	21,888	12,488	22,454	566	9,400	11,948	2,548	
その他	△ 5,069	815	497	5,567	△ 5,884	653	6,537	
合計	23,472	6,318	33,505	10,032	17,154	29,324	12,169	
株式	6,807	△ 6,970	9,403	2,596	13,777	15,729	1,952	
債券	22,056	12,416	23,359	1,302	9,640	12,858	3,218	
その他	△ 5,391	871	743	6,134	△ 6,262	736	6,998	

(3) 有価証券の構成比(平残)

【単 体】

(単位: %)

種 類	22年中間期		21年中間期
		前年同期比	
国 債	32.0	1.9	30.1
地 方 債	21.0	1.1	19.9
社 債	33.2	△ 0.5	33.7
株 式	2.7	△ 0.6	3.3
その他の証券	11.1	△ 1.9	13.0
合 計	100.0	—	100.0

6. 退職給付関連

(1) 退職給付債務残高(期首)

【単 体】

(単位: 百万円)

		22年中間期		21年中間期
			前年同期対比	
退職給付債務残高	(A)	24,204	130	24,074
(割引率)		(1.5%)	(-%)	(1.5%)
年金資産時価総額	(B)	11,409	910	10,499
未認識数理計算上の差異	(C)	5,450	△ 1,999	7,449
前払年金費用(△)	(D)	—	△ 539	539
退職給付引当金	(A-B-C+D)	7,343	677	6,666

(2) 退職給付費用

【単 体】

(単位: 百万円)

		22年中間期		21年中間期
			前年同期対比	
退職給付費用	(E+F-G+H+I)	811	△ 63	874
勤 務 費 用	(E)	302	△ 4	306
利 息 費 用	(F)	181	1	180
期 待 運 用 収 益	(G)	171	14	157
過 去 勤 務 債 務 処 理 額	(H)	—	—	—
数 理 計 算 上 の 差 異 処 理 額	(I)	498	△ 46	544

(注) 本中間決算説明資料「1. 損益状況」における退職給付費用の計上は、次のとおりであります。

「勤務費用」+「利息費用」-「期待運用収益」 → 「人件費」に計上
 「過去勤務債務処理額」+「数理計算上の差異処理額」 → 「臨時損益」に計上

7. 自己資本比率 (国内基準)

【連 結】

(単位：百万円)

	22年9月末			22年3月末	21年9月末
		22年3月末対比	21年9月末対比		
(1) 自己資本比率	14.01%	0.74%	0.53%	13.27%	13.48%
うちTier I比率	12.68%	0.74%	0.59%	11.94%	12.09%
(2) 基本的項目 (Tier I)	129,564	2,433	3,824	127,131	125,740
(3) 補完的項目 (Tier II)	14,771	112	△ 257	14,659	15,028
うち一般貸倒引当金	4,771	112	△ 150	4,659	4,921
うち劣後特約付社債	10,000	—	—	10,000	10,000
(4) 控除項目	1,213	717	673	496	540
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)	143,122	1,828	2,894	141,294	140,228
(6) リスクアセット	1,021,545	△ 42,872	△ 18,397	1,064,417	1,039,942

【単 体】

(単位：百万円)

	22年9月末			22年3月末	21年9月末
		22年3月末対比	21年9月末対比		
(1) 自己資本比率	13.96%	0.73%	0.53%	13.23%	13.43%
うちTier I比率	12.63%	0.73%	0.59%	11.90%	12.04%
(2) 基本的項目 (Tier I)	129,055	2,425	3,834	126,630	125,221
(3) 補完的項目 (Tier II)	14,771	112	△ 257	14,659	15,028
うち一般貸倒引当金	4,771	112	△ 150	4,659	4,921
うち劣後特約付社債	10,000	—	—	10,000	10,000
(4) 控除項目	1,209	716	673	493	536
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)	142,616	1,820	2,904	140,796	139,712
(6) リスクアセット	1,021,170	△ 42,877	△ 18,390	1,064,047	1,039,560

(参 考)

繰延税金資産【単 体】

(単位：百万円)

	22年9月末			22年3月末	21年9月末
		22年3月末対比	21年9月末対比		
繰延税金資産 ①	9,640	△ 868	△ 1,886	10,508	11,526
基本的項目 (Tier I) ②	129,055	2,425	3,834	126,630	125,221
対Tier I比率 (①/②)	7.46%	△ 0.83%	△ 1.74%	8.29%	9.20%
繰延税金資産除き自己資本比率	13.02%	0.78%	0.69%	12.24%	12.33%
うちTier I比率	11.69%	0.78%	0.76%	10.91%	10.93%

(注) 繰延税金資産は、貸倒引当金、有価証券の減損処理等にかかる繰延税金資産です。

8. ROE【単 体】

(単位：%)

	22年中間期		21年度	21年中間期
	21年度比	21年中間期比		
業務純益ベース（一般貸引繰入前）	8.54	0.61	7.93	8.13
業務純益ベース	8.39	0.29	8.10	7.88
中間（当期）純利益ベース	3.60	△ 0.40	4.00	4.82

(注) 分母の「純資産平均残高」は、(期首純資産の部+期末純資産の部)÷2を使用しております。

9. ROA、OHR【単 体】

(単位：%)

	22年中間期		21年度	21年中間期
	21年度比	21年中間期比		
ROA(業務純益ベース)	0.47	0.04	0.43	0.41
ROA(コア業務純益ベース)	0.45	△ 0.03	0.48	0.49
OHR	69.98	0.69	69.29	69.38

(注) ROA＝業務純益（コア業務純益）÷総資産平均残高（支払承諾見返を除く）

OHR＝経費（除く臨時処理分）÷コア業務粗利益

10. 預金、貸出金の残高【単 体】

(1) 期末残高

(単位：百万円)

	22年9月末		22年3月末	21年9月末
	22年3月末対比	21年9月末対比		
預 金 等	2,277,009	△ 34,146	2,311,155	2,223,818
うち 県 内	2,083,968	△ 25,665	2,109,633	2,026,088
預 金	2,194,644	△ 51,896	2,246,540	2,145,919
うち 県 内	2,008,733	△ 43,625	2,052,358	1,955,745
うち 個 人	1,695,189	1,133	1,694,056	1,682,191
貸 出 金	1,379,040	△ 49,520	1,428,560	1,370,085
うち 県 内	888,091	△ 42,184	930,275	882,736
うち 個 人	340,252	2,246	338,006	334,950

(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金

(2) 平均残高

(単位：百万円)

	22年中間期		21年度	21年中間期
	21年度対比	21年中間期対比		
預 金 等	2,322,597	72,197	2,250,400	2,255,607
うち 県 内	2,126,897	70,222	2,056,675	2,062,536
預 金	2,208,259	43,276	2,164,983	2,169,263
うち 県 内	2,020,149	40,713	1,979,436	1,984,484
うち 個 人	1,707,410	15,472	1,691,938	1,687,840
貸 出 金	1,377,634	3,427	1,374,207	1,363,787
うち 県 内	885,715	△ 1,981	887,696	881,792

(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金

(参 考)

預り資産【単 体】

(単位：百万円)

	22年9月末		22年3月末	21年9月末
		22年3月末対比		
投資信託	61,496	△ 2,809	64,305	62,255
公 共 債	95,750	△ 4,512	100,262	102,338
個人年金保険等	86,486	12,999	73,487	63,088
合 計	243,732	5,678	238,054	227,682

(注)個人年金保険等は販売累計額を記載しております。

預り資産手数料収入	622		93	1,090	529
-----------	-----	--	----	-------	-----

従業員数、店舗数【単 体】

(単位：人、店)

		22年中間期		21年度	21年中間期	
			21年度対比			21年中間期対比
従業員数	期 末	1,568	54	29	1,514	1,539
	期中平均	1,585	43	29	1,542	1,556
店 舗 数	期 末	109	△ 1	△ 1	110	110
	期中平均	109	△ 1	△ 1	110	110

Ⅲ 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況

[未収利息不計上基準] 自己査定結果に基づき破綻懸念先以下は原則として不計上

【単 体】

(単位：百万円)

		22年9月末		22年3月末	21年9月末
			22年3月末対比	21年9月末対比	
リスク管理債権	破綻先債権額	6,328	△ 1,441	418	7,769
	延滞債権額	28,861	△ 528	△ 2,063	29,389
	3カ月以上延滞債権額	894	△ 363	146	1,257
	貸出条件緩和債権額	7,498	246	△ 414	7,252
	合 計	43,582	△ 2,087	△ 1,913	45,669

貸出金残高(末残)	1,379,040	△ 49,520	8,955	1,428,560	1,370,085
-----------	-----------	----------	-------	-----------	-----------

貸出金残高比	破綻先債権額	0.45%	△ 0.09%	0.02%	0.54%
	延滞債権額	2.09%	0.04%	△ 0.16%	2.05%
	3カ月以上延滞債権額	0.06%	△ 0.02%	0.01%	0.08%
	貸出条件緩和債権額	0.54%	0.04%	△ 0.03%	0.50%
	合 計	3.16%	△ 0.03%	△ 0.16%	3.19%

(参 考)

関連会社3社のリスク管理債権の状況

(単位：百万円)

	債権総額 A	リスク管理債権 B	債権総額に 占める割合 B/A	担保・引当金等 による保全額 C	C/B
いわぎんリース・データ株式会社	2,465	545	22.1%	80	14.8%
株式会社いわぎんディーシーカード	2,506	1,062	42.4%	1,025	96.5%
株式会社いわぎんクレジットサービス	2,805	936	33.3%	891	95.1%
合 計	7,776	2,544	32.7%	1,998	78.5%

(注) 原則として、銀行法施行規則の開示基準に則っております。上記の関連会社3社は持分法適用会社であるため、連結財務諸表の注記事項のリスク管理債権には含まれておりません。

比率は円単位で算出し、小数点第2位以下を切捨表示しております。

2. 貸倒引当金の状況

(1) 残高

【単体】

(単位：百万円)

	22年9月末		21年9月末対比	22年3月末	21年9月末
		22年3月末対比			
貸倒引当金	14,441	△ 1,071	△ 681	15,512	15,122
一般貸倒引当金	4,635	106	△ 286	4,529	4,921
個別貸倒引当金	9,806	△ 1,177	△ 395	10,983	10,201
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

(2) 与信費用

【単体】

(単位：百万円)

	22年中間期		21年中間期対比	21年度	21年中間期
		21年度対比			
与信費用	1,675		1,213	3,395	462
一般貸倒引当金繰入額	106		△ 56	△ 230	162
不良債権処理額	1,569		1,269	3,625	300
貸出金償却	0		0	0	0
個別貸倒引当金繰入額	1,506		1,303	3,292	203
偶発損失引当金繰入額	36		△ 15	123	51
債権売却損	26		△ 18	207	44
与信費用比率	0.24%	0.00%	0.18%	0.24%	0.06%

(注) 与信費用比率＝与信費用(年額換算)÷貸出金(平残)

3. 金融再生法開示債権【単体】

(単位：百万円)

	22年9月末		21年9月末対比	22年3月末	21年9月末
		22年3月末対比			
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	14,950	△ 2,085	△ 510	17,035	15,460
危険債権	20,490	50	△ 1,316	20,440	21,806
要管理債権	8,392	△ 118	△ 268	8,510	8,660
小計(A)	43,833	△ 2,153	△ 2,095	45,986	45,928
正常債権	1,348,163	△ 47,988	9,744	1,396,151	1,338,419
合計(B)	1,391,997	△ 50,140	7,650	1,442,137	1,384,347
不良債権比率(A)／(B)	3.14%	△ 0.04%	△ 0.17%	3.18%	3.31%

4. 金融再生法開示債権の保全状況【単 体】

(単位：百万円)

	22年9月末		22年3月末	21年9月末
		22年3月末対比		
金融再生法開示債権 (A)	43,833	△ 2,153	△ 2,095	45,928
保 全 額 (B)	36,072	△ 1,517	△ 1,048	37,120
担保・保証等	25,660	△ 538	△ 779	26,439
貸倒引当金	10,412	△ 979	△ 268	10,680
保 全 率 (B/A)	82.2%	0.5%	1.4%	81.7%

(単位：百万円)

	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
金融再生法開示債権 (A)	14,950	20,490	8,392	43,833
保 全 額 (B)	14,950	18,168	2,953	36,072
担保・保証等	6,458	16,918	2,284	25,660
貸倒引当金	8,492	1,250	669	10,412
保 全 率 (B/A)	100.0%	88.6%	35.1%	82.2%
22年3月末比	—%	2.7%	0.0%	0.5%
21年9月末比	—%	1.9%	3.4%	1.4%

(参 考)

自己査定と金融再生法開示債権及びリスク管理債権の関係【単 体】

☆償却引当後

(単位：億円)

自己査定結果 (対象：総与信)					金融再生法開示債権 (対象：総与信)		リスク管理債権 (対象：貸出金)
自己査定における 債務者区分	分 類				うち貸出金		
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類			
破綻先 63	53	9	— (4)	— (47)	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 63	破綻先債権 63	
実質破綻先 86	46	39	— (7)	— (24)	149	延滞債権 288	
破綻懸念先 204	119	61	23 (12)		危険債権 204		
要 注 意 先	要管理先 116	21	94		要管理債権 83	3カ月以上延滞債権 8	
	要管理先以外 の要注意先 1,851	839	1,012		74	貸出条件緩和債権 74	
正常先 11,597	11,597				正常債権 13,481	合 計 435	
合 計 13,919	12,678	1,218	23 (24)	— (72)	合 計 13,919	13,790	

(注) 1. 単位未満を切り捨ててしております。

2. 総与信とは貸出金、支払承諾見返、外国為替、仮払金、未収利息の合計です。

3. 自己査定結果における () 内は分類額に対する引当額です。

5. 業種別貸出状況等

①業種別貸出金【単 体】

(単位：百万円)

	22年9月末		22年3月末	21年9月末	
		22年3月末対比			21年9月末対比
全 店 計	1,379,040	△ 49,520	8,955	1,428,560	1,370,085
製 造 業	222,687	△ 4,151	△ 3,386	226,838	226,073
農 業 ・ 林 業	4,499	28	103	4,471	4,396
漁 業	930	△ 19	△ 143	949	1,073
鉱 業 ・ 採 石 業 ・ 砂 利 採 取 業	2,569	△ 127	△ 150	2,696	2,719
建 設 業	49,675	△ 5,786	△ 5,275	55,461	54,950
電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	23,529	370	3,265	23,159	20,264
情 報 通 信 業	8,551	248	264	8,303	8,287
運 輸 業 ・ 郵 便 業	29,766	△ 3,308	△ 797	33,074	30,563
卸 売 業 ・ 小 売 業	183,364	△ 9,788	△ 15,579	193,152	198,943
金 融 業 ・ 保 険 業	70,957	△ 15,072	14,725	86,029	56,232
不 動 産 業 ・ 物 品 質 貸 業	141,045	△ 822	4,664	141,867	136,381
各 種 サ ー ビ ス 業	99,278	△ 7,402	1,460	106,680	97,818
地 方 公 共 団 体	199,136	△ 3,183	9,288	202,319	189,848
そ の 他	343,048	△ 507	518	343,555	342,530

②業種別リスク管理債権【単 体】

(単位：百万円)

	22年9月末		22年3月末	21年9月末
		22年3月末対比		
全 店 計	43,582	△ 2,087	△ 1,913	45,669
製 造 業	7,094	1,794	2,043	5,300
農 業 ・ 林 業	75	△ 55	△ 68	130
漁 業	320	△ 62	△ 120	382
鉱 業 ・ 採 石 業 ・ 砂 利 採 取 業	192	13	8	179
建 設 業	7,251	△ 79	2,648	7,330
電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	—	—	—	—
情 報 通 信 業	566	△ 13	15	579
運 輸 業 ・ 郵 便 業	1,310	△ 4	△ 180	1,314
卸 売 業 ・ 小 売 業	8,728	△ 232	△ 1,996	8,960
金 融 業 ・ 保 険 業	42	△ 2,480	△ 2,498	2,522
不 動 産 業 ・ 物 品 賃 貸 業	3,950	△ 601	△ 1,622	4,551
各 種 サ ー ビ ス 業	9,959	△ 522	△ 725	10,481
地 方 公 共 団 体	—	—	—	—
そ の 他	4,090	155	583	3,935

③消費者ローン残高【単 体】

(単位：百万円)

	22年9月末		22年3月末	21年9月末
		22年3月末対比		
消費者ローン残高	328,123	1,578	5,186	326,545
うち住宅ローン残高	307,222	1,779	6,117	305,443
うちその他ローン残高	20,900	△ 201	△ 932	21,101

④中小企業等貸出残高【単 体】

(単位：百万円)

	22年9月末		22年3月末	21年9月末
		22年3月末対比		
中小企業等貸出残高	748,268	△ 43,184	△ 10,454	791,452
うち個人向け残高	340,252	2,246	5,302	338,006
うち中小企業向け残高	408,015	△ 45,430	△ 15,757	453,445
中小企業等貸出比率	54.26%	△ 1.14%	△ 1.11%	55.40%